

3202 400

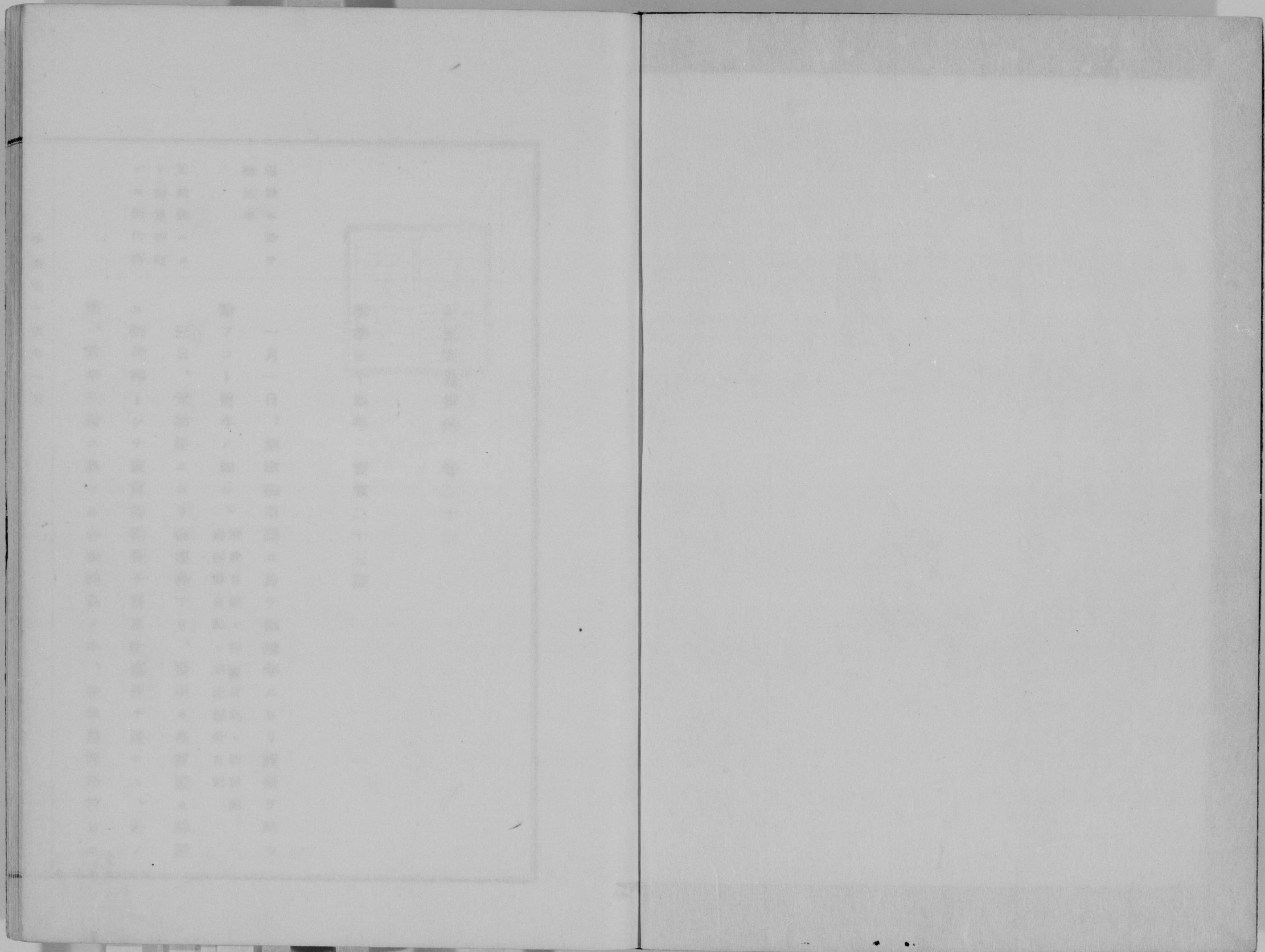
大正天皇實錄 卷二十三

圖書寮	
書號	64047
冊數	97
品號	秘 4

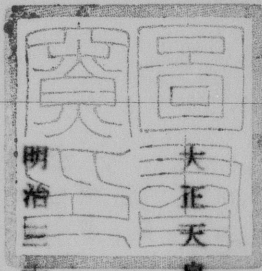


少池

3202 401



3202 402



明治三十四年 實算二十三歲

沼津ニ於テ
御越年

元始祭ニヨ
リ御遙拜並
ビニ御代拜

一月一日、沼津御用邸ニ於テ御越年ニヨリ諸儀ヲ略シ
給フコト前年ノ如シ。兩長日記・侍從日記・行啓錄
庶務課日記・高辻修長日記

三日、元始祭ニヨリ御遙拜アリ、賢所・皇靈殿・神殿
ニ御代拜トシテ東宮侍從長子爵高辻修長ヲ遣サル。是ノ
歳、宮中三殿ニ於ケル各御祭典ノ中、秋季皇靈祭並ビニ

明治三十四年一月

神慶祭ニノミ御拜アリ、他ハ何レモ御代拜ナリ。表示スレバ左ノ如シ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・典式録・高辻修長日記・官報

月日	御祭典	御代拜
一月十一日	英照皇太后御例祭	東宮侍從長子曾高辻修長
同日	孝明天皇御例祭	東宮侍從 有馬純文
二月十一日	紀元節御祭典	東宮侍從長子曾高辻修長
同日	仁孝天皇御例祭	同
三月廿一日	春季皇靈祭並神慶祭	同
四月三日	神武天皇御例祭	同
十月十七日	神嘗祭	同
十一月三日	天長節御祭典	東宮侍從 鍋島精次郎
十二月六日	後桃園天皇御例祭	東宮侍從長子曾高辻修長

圖書寮

新年宴會

明治三十四年一月

三

同	十二月十六日	光格天皇御例祭	同
同	同	賢所御神樂	同

是ノ日、午後一時三十分ヨリ御散歩ノ途次、侯爵大山巖別邸ニ御立寄アリ、三時三十分還啓アラセラル。夜ニ入リテ西幸吉ヲ召シ、薩摩琵琶二曲ヲ彈ゼシム。猶ホ幸吉ヲ召スコト度アリ。侍從日記・行啓録

四日、午後六時侯爵大山巖ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。爾後、侯爵西郷從道・伯爵川村純義等ニモ亦同様ノコト置スアリ。侍從日記・行啓録

五日、午前十一時威仁親王ニ御對顔、新年宴會ニヨリ

神祇祭ニノミ御拜アリ、他ハ何レモ御代拜ナリ。表示スレバ左ノ如シ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・典式録・高辻修長日記・官報

月日	御祭典	御代拜
一月十一日	英照皇太后御例祭	東宮侍從長子爵高辻修長
同卅日	孝明天皇御例祭	東宮侍從 有馬純文
二月十一日	紀元節御祭典	東宮侍從長子爵高辻修長
同廿一日	仁孝天皇御例祭	同
三月廿一日	春季皇靈祭並神祇祭	同
四月三日	神武天皇御例祭	同
十月十七日	神嘗祭	同
十一月三日	天長節御祭典	東宮侍從 鍋島精次郎
十二月六日	後桃園天皇御例祭	東宮侍從長子爵高辻修長

圖書寮

同 十二日	光格天皇御例祭	同	同
同 十六日	賢所御神樂	同	同

是ノ日、午後一時三十分ヨリ御散歩ノ途次、候爵大山巖別邸ニ御立寄アリ、三時三十分還啓アラセラル。夜ニ入りテ西幸吉ヲ召シ、薩摩琵琶二曲ヲ彈ゼシム。猶ホ幸吉ヲ召スコト度アリ。侍從日記・行啓録

四日、午後六時侯爵大山巖ニ晚餐ノ陪食ヲ賜フ。爾後、侯爵西郷從道・伯爵川村純義等ニモ亦同様ノコト歴々アリ。侍從日記・行啓録

五日、午前十一時威仁親王ニ御對顔、新年宴會ニヨリ

御風氣

歌御會始ニ
御詠進

午餐ニ祝膳ヲ供進セシメ、親王ト御會食アリ、供奉高等
 官ニ酒饌ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記・
行啓録・高辻修長日記
 七日、天皇・皇后ヨリ新年ニツキ軍刀壹振・回轉書棚
 壹基其ノ他ヲ拜領アラセラル。庶務課日記・
贈賜録
 是ノ日、御風氣ノ爲メ午後三時ヨリ御假床ニ就カセラ
 レ御加養アリ。尋イデ十九日頃ヨリ室内運動ヲ御開始ア
 リ、漸時ニシテ平癒アラセラル。兩長日記・侍從日記・
行啓録・拜診録・高辻
修長
日記
 十八日、歌御會始ノ御儀ヲ行ハセラルルニヨリ、嘉例
 ニ倣ヒテ、詠進アラセラル。猶ホ妃モ亦始メテ詠進アラ

圖書寮

大不列顛國
皇帝崩御ニ
ヨリ弔電ヲ
發セララル

明治三十四年一月

五

セラレタリ。御歌左ノ如シ。東宮記・
官報

雪中竹

皇太子御歌

ふりつもるまかきの竹のしら雪に

世のさむけさをおもひこそやれ

皇太子妃御歌

かきりなき君かちとせもともるらむ

竹のはやまにふれるはつ雪

二十三日、大不列顛國皇帝ウイクトリヤ、昨二十二日
 午後六時四十五分崩御ニ因リ弔電ヲ發シ、本日ヨリ二十

ツル
ツル

御講書始ノ儀

葉山御用邸ニ御二泊

一日間宮中喪ヲ服セラル。庶務無日記・行啓録・外事録

二十六日、彰仁親王ト晚餐ヲ御會食アラセラル。兩長日記・侍從日記

二十七日、午前十時御講書始ノ儀ヲ行ヒ、東宮侍講三島毅・同三田守眞ヲシテ進講セシム。兩長日記・行啓録

三十日、午前九時五十分沼津御用邸御出門、威仁親王ヲ隨ヘ東宮大夫候爵中山孝麿以下ヲ供奉セシメ汽車ニ御搭乘、葉山ニ行啓ノ途、鎌倉停車場ニテ御妹允子内親王ニ御對顔アリ、返子停車場ニテ御下車、午後二時五十五分葉山御用邸ニ安著アラセラル。翌三十一日有栖川宮別

圖書寮

葉山ヨリ還啓

朝融王誕生

有栖川宮邸ニ行啓

邸ヲ訪ハセ給ヒ、二月一日午後四時葉山御用邸ヨリ親王以下ヲ隨ヘ假東宮御所ニ還啓アフセラル。兩長日記・侍從日記・行啓録・皇后宮職日記・御直宮御養育御日記・高辻修長日記・官報

二月二日、午前十時御出門參内、天皇・皇后ニ謁シ、三種交魚壹切ヲ進獻、午後零時四十五分還啓アフセラル。兩長日記・侍從日記・行啓録・官報

是ノ日、邦彦王妃悦子分媛第一男子誕生アリシガ、八日朝融ト命名アリ。仍リテ御祝ノ爲メ兩日共三種交魚壹切ヲ進セラル。兩長日記・侍從日記

二日、午後一時二十分御出門、有栖川宮邸ニ行啓、威

ワタシ

ワタシ

一日間宮中喪ヲ服セラル。庶務課日記・行啓録・外事録

二十六日、彰仁親王ト晚餐ヲ御會食アラセラル。兩長日記・

特從日記
行啓録

二十七日、午前十時御講書始ノ儀ヲ行ヒ、東宮侍講三

島毅・同三田守眞ヲシテ進講セシム。兩長日記・行啓録・特從

三十日、午前九時五十分沼津御用邸御出門、威仁親王

ヲ隨ヘ東宮大夫候爵中山孝麿以下ヲ供奉セシメ汽車ニ御

搭乘、葉山ニ行啓ノ途、鎌倉停車場ニテ御妹允子内親王

ニ御對顔アリ、返子停車場ニテ御下車、午後二時五十五

分葉山御用邸ニ安著アラセラル。翌三十一日有栖川宮別

御講書始ノ儀

葉山御用邸

ニ御泊

圖書寮

葉山ヨリ還

啓

邸ヲ訪ハセ給ヒ、二月一日午後四時葉山御用邸ヨリ親王

以下ヲ隨ヘ假東宮御所ニ還啓アフセラル。兩長日記・特

從日記・行啓録・皇后宮職日記・御直
宮御愛育所日記・高辻修長日記・官報

二月二日、午前十時御出門參内、天皇・皇后ニ謁シ、

三種交魚壹折ヲ進獻、午後零時四十五分還啓アフセラル。

兩長日記・特從日記・行啓録・官報

是ノ日、邦彦王妃倪子分姫第一男子誕生アリシガ、八

日朝融ト命名アリ。仍リテ御祝ノ爲メ兩日共三種交魚壹

折ヲ進セラル。兩長日記・官報

三日、午後一時二十分御出門、有栖川宮邸ニ行啓、威

有栖川宮邸
ニ行啓

ワタシ

沼津御用邸
御遊獵

仁親王並ビニ妃憲子ニ御對顔、御歡談ノ後、三時四十分
還啓アフレラル。爾後、屢々同邸ニ行啓ノコトアリ。
兩長日記・侍從
日記・行啓録

四日、午前九時四十分御出門、威仁親王ヲ隨へ東宮大
天侯爵中山孝麿等ヲ供奉セシメ沼津ニ行啓、午後三時四
十分沼津御用邸ニ安著アフレラル。是ヨリ御淹留三月六
日ニ及ブ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・高辻修長
日記・行啓録・侍從職日記・皇后宮職日記・
報官

五日、午後一時沼津御用邸御出門、香真山附近ニ於テ
遊獵ヲ試ミ給ヒ、二時四十分還啓アフレラル。爾後、屢々

圖書寮

東宮武官長
ノ補任

愛鷹山御遊獵場・徳倉ニ於テ御遊獵ノコトアリ。侍從日記・行
啓録

六日、威仁親王ト午餐御會食、午後二時三十分ヨリ御
散歩アリ、侯爵西郷從道別邸ヲ過リ、四時四十五分還啓
アフレラル。兩長日記・侍從
日記・行啓録

九日、陸軍少將從五位勳五等功四級村木雅美ヲ東宮武
官ト僞シ、東宮武官長ニ補ス。報官

是ノ日、東宮武官川畑平吉ヲ參謀本部參謀演習旅行實
視トシテ演習地ニ差遣ノ命アリ。猶ホ此ノ後、東宮武官
差遣ノコト左表ノ如シ。重要雜錄・總務課差遣
退錄・官報・典式錄

明治三十四年二月

東宮武官差遣

月日	差遣先	差遣武官
三月廿三日	近衛師團幹部演習	東宮武官 田内三吉
四月十六日	軍艦初潮	武富邦鼎
四月十七日	要港砲兵射擊學校修業式	伯耆清水谷實英
五月廿六日	海軍機關學校卒業式	武富邦鼎
五月八日	陸軍戶山學校修業式	田内三吉
同 九日	陸軍經理學校卒業式	武富邦鼎
同 十五日	海軍懸賞射擊	同
同 廿二日	軍艦船手	田内三吉
同 廿四日	海軍大學校卒業式	伯耆清水谷實英
同 卅日	陸軍中央幼年學校卒業式	同
六月十日	野戰砲兵射擊學校修業式	川畑平吉
同 十二日	佐世保鎮守府常備艦隊及首級要港部聯合小演習	武富邦鼎

圖書寮

明治三十四年二月

同 廿八日	海軍水雷術練習所卒業式	同	平賀徳太郎
七月 九日	陸軍獸醫學校卒業式	同	伯耆清水谷實英
八月十六日	軍艦敷島・橋立	同	中村靜嘉
同 廿一日	要港砲兵射擊學校修業式	同	伯耆清水谷實英
同 廿七日	軍艦千代田	同	平賀徳太郎
十月 四日	近衛師團秋期小機動演習	同	伯耆清水谷實英
同 十二日	特別要港砲兵演習	同	田内三吉
同 廿八日	陸軍騎兵實施學校卒業式	同	平賀徳太郎
同 廿九日	陸軍特別大演習	東宮武官長 村木雅義	
十一月一日	靖國神社臨時大祭	東宮武官 平賀徳太郎	
同 四日	陸軍戶山學校修業式	同	田内三吉
同 六日	靖國神社例祭	同	同
同 八日	海軍小演習	同	平賀徳太郎
同 廿七日	海軍水雷術練習所卒業式	同	中村靜嘉

一一

少

清見寺ニ威仁親王ヲ訪ハセラル

井上馨別邸ニ行啓

月日	差遣先	差遣武官
十一月廿八日	陸軍大學校卒業式	東宮武官 田内三吉
同 卅日	陸軍經理學校卒業式	伯爵清水谷實英
十二月十四日	海軍兵學校卒業式	中村靜嘉
同 廿日	陸軍經理學校卒業式	田内三吉
同 廿三日	陸軍砲工學校卒業式	同
同 廿四日	陸軍戸山學校終業式	伯爵清水谷實英

十日、午前七時五十分沼津御用邸御出門、興津清見寺ニ威仁親王ヲ訪ハセ給ヒ、親王・妃慰子及ビ王子女ニ御對顔御款談アリ、晝餐御會食ノ後、四時三十五分還啓アラセラル。尋イデ十六日再ビ清見寺ニ親王ヲ御過訪アリ、夫ヨリ伯爵井上馨別邸ニ行啓、馨ニ白縮緬壹疋及ビ金參

小松宮別邸ニ行啓

百圓ヲ賜フ。是ヨリ三泊、其ノ間、親王ヲ隨へ遊獵ノ御慰アリ、十九日沼津御用邸ニ還啓アラセラレシガ、更ニ三月二日同別邸ニ御一泊、安倍郡北賤機村鯨ヶ池邊ニ於テ遊獵ヲ試ミ給ヘリ。兩長日記・侍從日記・高辻
 十二日、午後一時十五分ヨリ御乘馬ニテ中山慶子ノ寓所ニ臨ミ、二時四十分還啓アラセラル。爾後、屢々御立寄ノコトアリ。兩長日記・侍從日記・行啓錄
 十三日、午後二時御出門、馬車ニテ三島町ナル小松宮別邸ニ行啓、彰仁親王ニ御對顔御款談アリ、五時二十五分還啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・行啓錄

小松宮

御手取車

十七日、免親王三年御式年祭ニヨリ、眞榊料金五千疋ヲ
靈前ニ供ヘシム。庶務課日記、贈賜録

二十八日、午後一時十分御出門、御手取車ニテ原町附
近御逍遙、三時三十五分還啓アラセラル。爾後、御滝留

中御手取車ヲ試ミサセ給フコト頼ナリ。蓋シ御乗馬ニ代

へ御運動ノ爲メナリ。兩長日記・侍從日記・行啓録

三月四日、是ヨリ先、九條道實妻惠子女子ヲ産ミシガ、

是ノ日七夜ニヨリ三種交魚壹折・緋紋縮緬壹疋ヲ賜フ。

庶務課日記、贈賜録

七日、御歸京ニヨリ靜岡縣知事志波三九郎・靜岡縣警

御歸京

皇太子紀御
著帶ノ儀ヲ
行フ

部長有川貞壽・御料局靜岡支廳長秋山謙藏等ニ謁ヲ賜ヒ、

午前九時五十分沼津御用邸御出門、午後三時五十五分假

東宮御所ニ還啓、尋イデ翌八日午前十時十分御出門參内、

沼津地方ノ產物ヲ進獻、午後零時三十五分還啓アラセラ

ル。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・高辻修長日記・皇后宮職日記・侍從職日記・行啓録・官報

八日、樞密院議長侯爵西園寺公望・公爵島津忠濟・近

衛師團長陸軍中將男爵長谷川好道・東部都督陸軍中將男

爵奥保登等ニ謁ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・行啓録

九日、吉辰ニ依リ妃御著帶ノ儀アリ。午前八時公爵鷹

司瀬通、命ニ依リ御帶ヲ捧ジテ參殿、内謁見所御次ノ間

御著帶進獻ノ儀

ニ於テ東宮大夫候爵中山孝麿ニ傳フ。孝麿之レヲ妃ニ奉ル。御著帶ハ生平絹長サ一丈二尺幅半ヨリ折リ三重ニ帖ミ、之ヲ白ノ鳥ノ子二重ニテ褻ミ蒔繪ノ御衣篋ニ納ム。十一時皇太子、東宮女官ニ先導セシメ妃ノ御座ニ入ラセラルルヤ、妃御入側ノ階上ニ於テ迎へ奉リ、俱ニ椅子ニ著キ給ヒ、御著帶ノ儀ヲ嚴カニ行ハセラル。天皇・皇后其ノ儀ヲ祝シ鮮鯛各壹折ヲ賜フ。尋イデ妃ト共ニ内謁見所ニ於テ宮内大臣子爵田中光顯・侍從長候爵徳大寺實則・皇后宮大夫子爵香川敬三・九條道實並ビニ東宮職高等官及ビ關係諸員ノ祝賀ヲ受ケ給フ。又後刻祝賀ノ爲メ參殿セ

御著帶ノ儀

圖書寮

御著帶奉告ノ儀

ル威仁親王・貞愛親王・菊麿王・同妃常子・邦彦王ニ御對顔アリ、内閣總理大臣候爵伊藤博文・陸軍大臣男爵兒玉源太郎・從一位徳川慶喜ニ謁ヲ賜ヘリ。是ヨリ先、午前九時賢所・皇靈殿・神殿ニ於テ著帶奉告ノ儀アリ、東宮侍從男爵多久乾一郎ヲシテ代拜セシメ、又皇太子妃御代拜ハ東宮女官吉見光子ニ命セラレタリ。午餐ニハ祝膳ヲ供進セシメ、表謁見所ニ於テ御親昵並ビニ東宮職高等官及ビ關係諸員ニ立食ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・高辻修長日記・侍從職日記・皇后宮職日記・通宮御誕生録・祭祀録十日、威仁親王・威仁親王妃智恵子・依仁親王・同妃

つゆま

御著帶祝賀
ノ宴ヲ催シ
給フ

韓國公使ニ
賜儀

周子・博恭王・同妃經子・守正王・同妃伊都子ニ御對顔アリ。午後一時三十分御出門、山階・有栖川兩宮邸ニ行啓、五時十分還啓、貞愛親王ト晚餐御會食アラセラル。兩長日記・侍從日記・高辻修長日記・行啓録・官報

十一日、芝離宮ニ侯爵伊藤博文以下三十五名ヲ召シ、妃著帶祝賀ノ宴ヲ催シ給フ。偶々御遠例ニヨリ行啓ヲ止メ、威仁親王ヲ御名代トシテ臨席セシム。是ヨリ御假床六日間ニ及ヒ、十七日ニ至リ御撤床アラセラル。兩長日記・侍從日記・高辻修長日記・拜診録

十九日、午前十一時三十分妃ト俱ニ表謁見所ニ於テ本

圖書寮

佛蘭大統領
ヲ花瓶ヲ
贈進

邦駐劄韓國特命全權公使成岐運ニ謁ヲ賜ヒ、午後二時、本邦駐劄佛蘭西國特命全權公使じゆゝゝあるまんヲ御引見、該國大統領るべいの贈進セルせゝぶる製花瓶壹個ヲ受ケサセラレ、あるまんニ陶器觀世音檀物壹軀ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・外事録・高辻修長日記・官報

二十一日、威仁親王・邦彦王・守正王ニ御對顔、内閣總理大臣侯爵伊藤博文・陸軍中將寺内正毅ニ謁ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記

二十二日、午前十時御出門參内、御歸途、有栖川・小松兩宮邸ヲ過リ、午後四時二十分還啓アラセラル。兩長日記

御著帶祝賀
ノ宴ヲ催シ
給フ

韓國公使ニ
賜謁

周子・博恭王・同妃經子・守正王・同妃伊都子ニ御對顔アリ。午後一時三十分御出門、山階・有栖川兩宮邸ニ行啓、五時十分還啓、貞愛親王ト晚餐御會食アラセラル。兩長日記・侍從日記・高辻修長日記・行啓録・官報

十一日、芝離宮ニ侯爵伊藤博文以下三十五名ヲ召シ、妃著帶祝賀ノ宴ヲ催シ給フ。偶々御違例ニヨリ行啓ヲ止メ、威仁親王ヲ御名代トシテ臨席セシム。是ヨリ御假床六日間ニ及ヒ、十七日ニ至リ御撤床アラセラル。兩長日記・侍從日記・高辻修長日記・拜診録

十九日、午前十一時三十分妃ト俱ニ表謁見所ニ於テ本

圖書寮

佛國大統領
ヲ花瓶ヲ
贈進

邦駐劄韓國特命全權公使成岐運ニ謁ヲ賜ヒ、午後二時、本邦駐劄佛蘭西國特命全權公使じゆゝる。あるまんヲ御引見、該國大統領るべしノ贈進セルせしむる製花瓶壹個ヲ受ケサセラレ、あるまんニ陶器觀世音像物壹軀ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・外事録・高辻修長日記・官報

二十一日、威仁親王・邦彦王・守正王ニ御對顔、内閣總理大臣侯爵伊藤博文・陸軍中將寺内正毅ニ謁ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記

二十二日、午前十時御出門參内、御歸途、有栖川・小松兩宮邸ヲ過リ、午後四時二十分還啓アラセラル。兩長日記

東宮輔導顧問會雜

侍從日記・庶務課日記・侍
 從職日記・行啓録・官報
 是ノ日、威仁親王、東宮輔導顧問會議ヲ催シ、親王御
 誕生ノ場合ハ其ノ御養育方ヲ伯爵川村純義ニ沙汰アラセ
 ラルベキ事、皇太子追々御健康ニヨリ本年ノ觀禮會ヨリ
 御陪觀ヲ始メサセラルベキ事、現政治ノ御下問ハ時ノ總
 理大臣ヨリ言上ノ事、憲法學ハ其ノ專問ノ博士ヲ召シテ
 聽聞アラセラルベキ事、皇孫御誕生ノ後ハ皇太子凡ソ一々
 月御旅行アラセラレ、御命名ノ際ハ一旦御歸京、更ニ御
 轉地アルベキ事等ヲ議決シ、翌二十三日親王參内シテ之
 ヲ奏上ス。有栖川宮典親・齋藤桃太郎日記・威仁親王行實・侍從職日記

圖書寮

葉山御用邸御淹留

二十三日、午後一時五十分御出門、威仁親王ヲ隨ヘ東
 宮大夫候爵中山孝麿等ヲ供奉セシメ葉山ニ行啓、五時七
 分葉山御用邸ニ安著アラセラル。是ヨリ御淹留五月四日
 ニ及ビ、其ノ間、有栖川宮邸ヲ屢々御過訪アリ、山階宮
 別邸・伯爵松方正義・男爵高崎正風等ノ別邸ニモ御立寄
 ノ事アリ、御慰ニハ遊獵ヲ試ミ給ヒ、或ハ御徒步ニテ或
 ハ御手取車ニテ或ハ自轉車ニテ或ハ御乘馬ニテ附近御道
 邊ノコト概ネ毎時ノ如シ。其ノ他ニハ鎌倉・小田原・茅ヶ
 崎ニ御遊行アリ、横須賀ニ軍艦御見學等ノ事アリ。兩長日記・侍從日記・侍從職日記・官報

ウツタ

鎌倉ニ行啓

三十一日、午前八時三十分葉山御用邸御出門、有栖川宮別邸ヲ過リテ鎌倉御用邸ニ行啓、御妹允子・聰子兩内親王ニ御對顔、緋紋縮緬各壹反ヲ進ゼラル。午餐御會食ノ後、御徒歩ニテ長谷・材木座・雪ノ下邊ヲ御散歩、四時二十分御用邸ニ還啓アラセラル。又四月二十一日ニハ午前八時三十分御出門、御手取車ニテ有栖川宮別邸ヲ御過訪ノ後、返子停車場ヨリ汽車ニテ鎌倉ニ行啓、山階宮別邸ニ御著、餐後、海岸ヲ經テ長谷附近ヲ御散歩アリ、伯爵松方正義別邸ヲ過リ、四時十五分葉山御用邸ニ還啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・行啓錄・高辻修長日記・御直宮御養育掛日記

圖書寮

禰子女王ニ
祝品ヲ賜フ

觀櫻ノ宴ヲ
催シ給フ

小田原御遊
歩

四月六日、貞愛親王第一女子禰子女王、侯爵山内豐景ニ降嫁スルヲ以テ、親王ニ五種交魚壹折ヲ、女王ニ紅白縮緬各壹疋ヲ賜フ。庶務課日記・贈賜錄

七日、觀櫻ノ爲メ午前六時十分葉山御用邸御出門ニテ假東宮御所ニ還啓、正午妃ト俱ニ赤坂御苑ニ行啓、櫻花ヲ御觀賞、億錦閣ニ於テ餐餐ヲ攝ラセラレ、重臣ヲ召シ陪食ヲ賜フ。午後三時御出門、六時十五分葉山御用邸ニ還啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・侍從職日記・行啓錄・高辻修長日記・官報

十四日、午前七時五十分葉山御用邸御出門、小田原ニ行

鎌倉ニ行啓

三十一日、午前八時三十分葉山御用邸御出門、有栖川宮別邸ヲ過リテ鎌倉御用邸ニ行啓、御妹允子・聰子兩内親王ニ御對顔、緋紋縮緬各壹反ヲ進ゼラル。午餐御會食ノ後、御徒歩ニテ長谷・材木座・雪ノ下邊ヲ御散歩、四時二十分御用邸ニ還啓アラセラル。又四月二十一日ニハ午前八時三十分御出門、御手取車ニテ有栖川宮別邸ヲ御過訪ノ後、逗子停車場ヨリ汽車ニテ鎌倉ニ行啓、山階宮別邸ニ御著。午餐後、海岸ヲ經テ長谷附近ヲ御散歩アリ、伯爵松方正義別邸ヲ過リ、四時十五分葉山御用邸ニ還啓アラセラル。

兩長日記・侍從日記・行啓錄・高辻修長日記・御直宮御警會掛日記

圖書寮

禎子女王ニ
祝品ヲ賜フ

觀櫻ノ宴ヲ
催シ給フ

小田原御遊
歩

四月六日、貞愛親王第一女子禎子女王、候爵山内豐景ニ降嫁スルヲ以テ、親王ニ五種交魚壹折ヲ、女王ニ紅白縮緬各壹疋ヲ賜フ。

庶務課日記・贈賜錄

七日、觀櫻ノ爲メ午前六時十分葉山御用邸御出門ニテ假東宮御所ニ還啓、正午妃ト俱ニ赤坂御苑ニ行啓、櫻花ヲ御觀賞、傳鋪閣ニ於テ午餐ヲ攝ラセラレ、重臣ヲ召シ陪食ヲ賜フ。午後三時御出門、六時十五分葉山御用邸ニ還啓アラセラル。

兩長日記・侍從日記・庶務課日記・侍從日記・行啓錄・高辻修長日記・官報

十四日、午前七時五十分葉山御用邸御出門小田原ニ行

横須賀軍港
ニテ軍艦ヲ
御見學

茅ヶ崎土方
久元別邸ニ

啓、十時三十分小田原御用邸ニ御著、御晝餐ノ後附近ヲ
御散歩アリ、歸途有栖川宮別邸ヲ經テ、五時五十分葉山
御用邸ニ遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・
行啓録・高辻修長日記・
二十五日、午後零時四分葉山御用邸御出門、横須賀ニ
行啓、横須賀軍港ニ碇泊セル軍艦初瀬ヲ御見學、艦長海
軍大佐植村永孚以下諸員ニ謁ヲ賜フ。尋イデ軍艦朝日ヲ
御見學アリ、艦長海軍大佐三須宗太郎以下諸員ニ謁ヲ賜
フコト前ノ如シ。兩艦ニ銀盃壹組及ビ金百圓ヲ賜ヒ、五
時二十五分遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・
行啓録・高辻修長日記・
二十八日、午前九時二十八分御出門、茅ヶ崎ナル伯爵

圖書寮

行啓

親王御誕生

祝賀ノ内宴
ヲ催サル

土方久元別邸ニ行啓、御晝餐ノ後、書齋ヲ御覽、久元ニ
物ヲ賜ヒ、午後五時遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日
記・行啓録・高辻
修長日記

第二由子
二十九日、午後十時十分紀伊東宮御所ニ於テ御分姫、
御誕生ノ旨ヲ聽カセラル。仍リテ翌三十日柳原愛子ヲ
始メ供奉高等官等ニ謁ヲ賜ヒ、其ノ祝詞ヲ享ケサセラル。
五月二日夕刻ヨリ内宴ヲ催シ、供奉高等官以下ニ酒饌ヲ
賜フ。其ノ間、御庭ニ於テ海軍軍樂隊ノ奏樂アリ。兩長日
記・侍從日記・庶務部日記・侍從職日録・皇后宮職日記・迪宮
御誕生録・行啓録・官報・昭憲皇太后御事歴材料・高辻
修長日記・祭記録

明治三十四年四月

二四

横須賀軍港
ニテ軍艦ヲ
御見學

茅ヶ崎土方
久元別邸ニ

啓、十時三十分小田原御用邸ニ御著、御晝餐ノ後附近御散歩アリ、歸途有柄川宮別邸ヲ經テ、五時五十分葉御用邸ニ遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・御見學ニ遷啓アラセラル。行啓録・高辻修長日記。

二十五日、午後零時四分葉山御用邸御出門、横須賀行啓、横須賀軍港ニ碇泊セル軍艦初瀬ヲ御見學、艦長軍大佐植村永孚以下諸員ニ謁ヲ賜フ。尋イデ軍艦朝日御見學アリ、艦長海軍大佐三須宗太郎以下諸員ニ謁ヲフコト前ノ如シ。兩艦ニ銀盃壹組及ビ金百圓ヲ賜ヒ、時二十五分遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・行啓録・高辻修長日記。

二十八日、午前九時二十八分御出門、茅ヶ崎ナル伯

圖書

行啓

親王御誕生

祝賀ノ内宴ヲ催サル

土方久元別邸ニ行啓、御晝餐ノ後、書齋ヲ御覽、久元物ヲ賜ヒ、午後五時遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・修長日記。

二十九日、午後十時十分妃假東宮御所ニ於テ御分御^{第一御子}御誕生ノ旨ヲ聽カセラル。仍リテ翌三十日柳原愛子始メ供奉高等官等ニ謁ヲ賜ヒ、其ノ祝詞ヲ享ケサセラ

五月二日夕刻ヨリ内宴ヲ催シ、供奉高等官以下ニ酒饌賜フ。其ノ間、御庭ニ於テ海軍軍樂隊ノ奏樂アリ。兩長日記・庶務課日記・侍從日記・皇后宮殿日記・御誕生録・行啓録・官報・昭憲皇太后御奉慶材料・修長日記・拜診録・祭記録

明治三十四年四月

二五

横須賀軍港
ニテ軍艦ヲ
御見學

茅ヶ崎土方
久元別邸ニ

啓、十時三十分小田原御用邸ニ御着、御書齋ノ後附近ヲ
御散歩アリ、歸途有栖川宮別邸ヲ經テ、五時五十分葉山
御用邸ニ遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・
行啓録・高辻修長日記・
二十五日、午後零時四分葉山御用邸御出門、横須賀ニ
行啓、横須賀軍港ニ碇泊セル軍艦初瀬ヲ御見學、艦長海
軍大佐植村永孚以下諸員ニ謁ヲ賜フ。尋イデ軍艦朝日ヲ
御見學アリ、艦長海軍大佐三須宗太郎以下諸員ニ謁ヲ賜
フコト前ノ如シ。兩艦ニ銀盃壹組及ビ金百圓ヲ賜ヒ、五
時二十五分遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・
行啓録・高辻修長日記・
二十八日、午前九時二十八分御出門、茅ヶ崎ナル伯爵

圖書寮

行啓

親王御誕生

祝賀ノ内宴
ヲ催サラル

土方久元別邸ニ行啓、御書齋ノ後、書齋ヲ御覽、久元ニ
物ヲ賜ヒ、午後五時遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日
記・行啓録・高辻

修長
日記

二十九日、午後十時十分妃假東宮御所ニ於テ御分曉、
御誕生ノ旨ヲ聽カセラル。仍リテ翌三十日柳原愛子ヲ
始メ供奉高等官等ニ謁ヲ賜ヒ、其ノ祝詞ヲ享ケサセラル。
五月二日夕刻ヨリ内宴ヲ催シ、供奉高等官以下ニ酒饌ヲ
賜フ。其ノ間、御庭ニ於テ海軍軍樂隊ノ奏樂アリ。兩長日
記・侍從日記・庶務日記・侍從殿日記・皇后宮殿日記・迪宮
御誕生録・行啓録・官報・昭憲皇太后御奉懸材料・高辻
修長日記・祭記録

御誕生

親王ニ御對
顔ノ爲メ御
歸京

五月三日、午前七時二十分葉山御用邸御出門、九時五十分新橋停車場御著、直ニ參内アリ、十一時假東宮御所ニ還啓アラセラレ、親王ニ初メテ御對顔ノ儀アリ。午後二時皇后、行啓アリ、皇孫ヲ見給ヒ、御機嫌克ク宮城ニ還御アラセラレタルヲ以テ、皇太子即チ

このもとに今日仰かんと思ひきや

吾は、そ葉の高き御蔭を

ト御歌ヲ詠ジテ殊ノ他悦ビ給フ。既ニシテ四時御出門、威仁親王ヲ隨ヘ七時葉山御用邸ニ還啓アラセラル。爾長
侍從日記・庶務課日記・行啓錄・侍從職日記・皇后宮
職日記・高辻修長日記・官報・大正天皇御製集稿本

圖書寮

命名ニヨリ
歸京
宮中三殿命
名奉告祭

五日、親王、生後七日ニ當ルヲ以テ、古例ニ倣ヒ命名ノ儀アルニ依リ、午前六時葉山御用邸御出門、八時三十分假東宮御所ニ還啓アラセラル。九時宮中三殿ニ於テ命名奉告ノ祭典アリ、天皇御代拜侍從日根野要吉郎、皇太子御代拜東宮侍從子爵大迫貞武、皇太子妃御代拜東宮主事 中田直慈タリ。

天皇名記ヲ
賜フ

十時勅使侍從長侯爵徳大寺實則、大高禮紙ニ宸筆アラセラレタル名記竝ビニ御稱號書ヲ禮紙ニテ裹ミ、柳菴ニ納メ之ヲ奉ジテ參殿、中田東宮主事、御車寄階上ニ迎ヘ休所ニ充テタル御學問所ニ誘引シ、東宮大夫侯爵中山孝

裕仁ト命名、
迪宮ト稱セ
ラル

唐之ニ接ス。其ノ間、中田東宮主事、勅使參上ノ旨ヲ啓
ス。皇太子内謁見所ニ出デサセラレ、尋イデ勅使、東宮
大夫ノ前導ニテ御前ニ進ミ、御命名ノ旨ヲ啓シ、且ツ名
記御稱號書ヲ恭シク捧グ。皇太子御覽アリ、之ヲ勅使ニ
返シ給フ。勅使更ニ親王ノ居間ニ進ミ同書ヲ捧呈、東宮
大夫之ヲ拜受シテ案上ニ置ク。斯クテ儀畢ル。親王ニ裕
仁^{ヒト}ノ御名ヲ賜ハリ迪宮ト稱セラル。勅使東宮大夫ノ前導
ニテ退出、總ベテ前ノ如シ。是ニ於テ十時三十分中山東
宮大夫ヲ勅使トシテ參内セシメ、御命名ノ御禮ヲ奏セシ
ム。

圖書寮

御名御稱號
ノ典據

因ニ、天皇、皇孫ノ生ルルヤ、實則ヲシテ命ヲ文事秘
書官長男爵細川潤次郎ニ傳ヘ、御名及ビ御稱號ノ字ヲ撰
進セシム。即チ文事秘書官股野塚、裕仁・雍仁・穆仁及
ビ迪宮・謙宮ヲ撰ビ、實則ヲ經テ之レヲ上ル。天皇、乃
チ裕仁ト迪宮トヲ勅定アラセラレシナリ。其ノ典據ヲ案
ズルニ、裕ハ易經ニ「益德之裕也」、詩經ニ「此令兄弟
綽綽有裕」、書經ニ「好問則裕自用則小」、禮記ニ「寬
裕者仁之作也」ト云ヒ、迪ハ書經ニ「東迪吉從逆凶」、
又一允迪厥德謨明弼諧」トアルニ基ツク。
勅使退下ノ後、内謁見所ニ於テ祝賀ノ爲メ參殿ノ皇族

御禮ノ爲メ
参内

御内祝御儀

ニ御對顔アリ、東宮職高等官其ノ仲關係諸員ニ謁ヲ賜フ。
 尋イテ午餐ニ祝膳ヲ供進セシメ御歡アリ。午後二時参内、
 恩ヲ謝シ奏啓アリ、三時四十分還啓アラセラル。晚餐ニ
 當リ威仁親王・同妃慰子ヲ召シ、表謁見所ニ於テ御會食、
 宮内大臣子爵田中光顯・同妻伊與子・皇后宮大夫子爵香
 川敬三・正四位九條道實・公爵藤司源通・同妻順子・公
 爵一條實輝・同妻悦子・御妹常宮周宮御養育主任伯爵佐
 々木高行・御妹富美宮泰宮御養育主任子爵林友幸・伯爵
 川村純義・同妻春子並ビニ東宮職諸員ニ立食ヲ賜ヒ、慶
 ヲ分タセラル。猶ホ女官ニモ御内儀ニ於テ餐ヲ賜ヘリ。

圖書寮

小田原御用
邸御淹留

兩長日記・侍從日記・庶務課日記・行啓錄・高辻修長日
 記・迪宮御誕生錄・侍從職日録・皇后宮職日記・有栖川
 類宮書

六日、午後一時十五分御出門、威仁親王ヲ隨へ東宮武
 官長男爵村木雅美等ヲ供奉セシメ小田原ニ行啓、五時七
 分小田原御用邸ニ安著アラセラル。是ヨリ御淹留十六日
 ニ及ブ。其ノ間、威仁親王ヲ子爵野村靖ノ別邸ニ訪ハセ
 ラレ、或ハ親王ト御會食アリ、九日ニハ親王ヲ隨へ自轉
 車ニテ大磯ニ御逍遙アリ、候爵伊藤博文ノ別邸ヲ過リテ
 還啓アリ、時ニハ酒匂川下流ニ於テ網漁ノ御慰等アラセ
 ラレシガ、偶々十日夜ヨリ御風氣ニ罹ラセ給ヒテ御假床

御風氣

御膳ノ爲メ
参内

ニ御對顔アリ、東宮職高等官其ノ他關係諸員ニ謁ヲ賜フ。
遅イテ午餐ニ祝膳ヲ供進セシメ御歎アリ。午後二時参内、
恩ヲ謝シ奏啓アリ、三時四十分還啓アラセラル。晚餐ニ
當リ威仁親王・同妃慰子ヲ召シ、表謁見所ニ於テ御會食、
宮内大臣子爵田中光顯・同妻伊與子・皇后宮大夫子爵香
川敬三・正四位九條道實・公爵藤司源通・同妻順子・公
爵一條實輝・同妻悦子・御妹常宮周宮御養育主任伯爵佐
々木高行・御妹富美宮泰宮御養育主任子爵林友幸・伯爵
川村純義・同妻春子並ビニ東宮職諸員ニ立食ヲ賜ヒ、慶
ヲ分タセラル。猶ホ女官ニモ御内儀ニ於テ餐ヲ賜ヘリ。

圖書寮

小田原御用
邸御淹留

兩長日記・侍從日記・庶務課日記・行啓録・高辻修長日
記・進宮御誕生録・侍從職日録・皇后宮職日記・有栖川
宮書

六日、午後一時十五分御出門、威仁親王ヲ隨へ東宮武
官長男爵村木雅美等ヲ供奉セシメ小田原ニ行啓、五時七
分小田原御用邸ニ安著アラセラル。是ヨリ御淹留十六日
ニ及ブ。其ノ間、威仁親王ヲ子爵野村靖ノ別邸ニ訪ハセ
ラレ、或ハ親王ト御會食アリ、九日ニハ親王ヲ隨へ自轉
車ニテ大磯ニ御道遙アリ、侯爵伊藤博文ノ別邸ヲ過リテ
還啓アリ、時ニハ酒匂川下流ニ於テ網漁ノ御慰等アラセ
ラレシガ、偶々十日夜ヨリ御風氣ニ罹ラセ給ヒテ御假床

御風氣

葉山御用邸
ニ御轉地
遷啓
裕仁親王賢
所參拜並ビ
ニ初參内
宮中御内宴
ニ應マセラ

アリ、宮中顧問官男爵橋本綱常以下侍醫ノ拜診ヲ受ケ給
フコト日アリ。二十日頃ニ至リ略々快癒アラセラレタル
ヲ以テ、二十一日小田原御用邸ヨリ葉山御用邸ニ御轉地
アリ、御静養ニ努メ給ヒ、二十七日午後五時五十分假東
宮御所ニ遷啓アラセラル。 兩長日記・侍從日記・庶務課
日記・高辻修長日記・行啓録
報官
二十八日、皇后御誕辰ノ吉日ヲ選ビ、裕仁親王賢所參
拜並ビニ初參内ノ儀ヲ行ハセラル。午前十一時宮中ニ於
テ内宴ヲ開カセラルルニヨリ參内、皇后御誕辰ノ祝詞ヲ
啓シ、正午千種間ニテ天皇・皇后ニ從ヒ、載仁親王・同

獨斷公使ニ
賜謁

妃智恵子・菊麿王等ト宴ニ陪シ、午後三時二十分遷啓ア
ラセラル。 兩長日記・侍從日記・庶務課日記・通官御
生録・侍從職日記・皇后宮職日記・高辻修長
日記・行啓録
祭記録・官報

二十九日、午前十時三十分本邦駐劄獨逸國新任特命全
權公使伯爵ふおん・あるこー・わるれー及ビ同國公使館
附武官男爵ふおん・りつてるニ謁ヲ賜ヒ、十一時參内、
慈イテ高輪御殿ニ行啓、午後四時二十五分遷啓アラセラ
ル。 兩長日記・侍從日記・庶務課日記・
外事録・侍從職日記・行啓録・官報
三十日、午後二時三十分御出門、伏見宮邸ニ行啓、貞
愛親王ニ鯉五口ヲ、邦芳王ニ蒔繪御手箱壹個ヲ進ゼラレ、

葉山御用邸
ニ御淹留

四時十七分還啓アラセラル。爾長日記・侍從日記・庶務御日記・行啓録・官報
 三十一日、午後二時五十分御出門、東宮大夫候爵中山孝麿等ヲ供奉セシメ葉山ニ行啓、六時五分葉山御用邸ニ安著アラセラル。爾長日記・侍從日記・高辻
 〇六月五日、午前九時二十五分葉山御用邸御出門、威仁親王ヲ隨へ東宮大夫候爵中山孝麿等ヲ供奉セシメ、逗子停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、横須賀停車場ニ御下車、海軍軍令部長海軍大將子爵伊東祐亨、横須賀鎮守府司令長官海軍中將男爵井上馨・同鎮守府參謀長海軍大佐向山愷吉・東京灣要塞砲兵聯隊長陸軍砲兵大佐豊島陽藏等ノ奉迎ヲ

近海御巡航

圖書寮

御召艦船手

受ケサセラレ、軍艦船手ニ御搭乘、艦長海軍大佐山田彦八以下諸員ニ謁ヲ賜フ。本艦ハ出雲ト共ニ曇日、相前後シテ英吉利國ヨリ横須賀ニ回航セラレタル最新鋭艦ナルヲ以テ、茲ニ御見學ヲ兼ね給ヒテ御乗艦アリ、更ニ近海御巡航ヲ試ミサセラル。十時十五分御召艦ハ軍艦出雲・水雷驅逐艇雷ヲ供奉セシメテ徐ニ浮標ヲ離レ、館山灣・清水港ヲ經テ七日午後四時十分武豊港ニ投錨、是ヨリ鳥羽港附近ニ回航ノ豫定ナリシガ、偶々同地方ニ麻疹發生セルヲ以テ之ヲ止メ、此ノ地ニ泊ス。其ノ間、親王等ヲ隨へテ鳳翔閣ニ赴キ給ヒテ御會食アリ、或ハ艦載水雷

航海中ノ御
動靜

自轉車ニテ
御遠乗

艇ニテ港内御遊覽等ノ事アリ。九日午前四時御召艦同港ヲ拔錨、歸航ノ途、暫時沼津ニ假泊シ、夫ヨリ館山灣迄出雲ニ御搭乗、十一日午前八時横須賀軍港ニ入ル。

航海中ハ往復トモ御機嫌殊ニ麗シク諸操練ハ幸ヨリ、夜間水雷襲撃等各種ノ演習ヲ御見學アリ。其ノ餘ニハ遊技運動等ヲ御興深ク覽給ヒ、館山・清水・沼津等ニテハ小時御上陸、近傍御遊歩等ノコトアリ。中ニモ沼津假泊ノ際ハ、警手・出雲兩艦ノ艦長以下諸士官ガ英吉利國ヨリ自轉車ヲ持チ來レル由ヲ聞召サレ、威仁親王ヲ始メ兩艦長以下二三ノ士官ヲ隨ヘ吉田邊迄遠乗ヲ試ミ給ヒテ御

圖書寮

慰アリ、蓋シ頃時自轉車ハ御手取車・御乘馬ト共ニ頗ル御自信ヲ有タセ給ヒシヲ以テ此ノ御催アリシナリ。又御上陸各地ニ於テハ寫眞ヲ御撮影アリ、之亦漸ク御興味ヲ覺エサセ給ヘルニ因ル。

斯クテ近海御巡航ヲ終ラセラルルヤ、御上陸ノ前日御召艦警手ニ伊東海軍軍令部長ヲ始メ山田・井上兩艦長以下諸員ヲ召シ、洋酒ヲ賜ヒテ勞ヲ犒ハセラレ、伊東海軍軍令部長ニハ晚餐ノ陪食ヲ賜ヘリ。猶ホ御餐ニハ毎回威仁親王ト御會食アラセラレタリ。

御召艦横須賀軍港ニ繫留セラルルヤ、十一日午前十時

艇ニテ港内御遊覽等ノ事アリ。九日午前四時御召艦同港ヲ拔錨、歸航ノ途、暫時沼津ニ假泊シ、夫ヨリ館山灣迄出雲ニ御搭乘、十一日午前八時横須賀軍港ニ入ル。

航海中ハ往復トモ御機嫌殊ニ麗シク諸操練ハ幸ヨリ、夜間水雷襲撃等各種ノ演習ヲ御見學アリ。其ノ餘ニハ遊技運動等ヲ御興深ク覽給ヒ、館山・清水・沼津等ニテハ小時御上陸、近傍御遊歩等ノコトアリ。中ニモ沼津假泊ノ際ハ、警手・出雲兩艦ノ艦長以下諸士官ガ英吉利國ヨリ自轉車ヲ持テ來レル由ヲ聞召サレ、威仁親王ヲ始メ兩艦長以下二三ノ士官ヲ隨ヘ吉田邊迄遠乗ヲ試ミ給ヒテ御

航海中ノ御
動靜

自轉車ニテ
御速乗

圖 書 寮

慰アリ、蓋シ頃時自轉車ハ御手取車・御乘馬ト共ニ頗ル御自信ヲ有タセ給ヒシヲ以テ此ノ御催アリシナリ。又御上陸各地ニ於テハ寫眞ヲ御撮影アリ、之亦漸ク御興味ヲ覺エサセ給ヘルニ因ル。

斯クテ近海御巡航ヲ終ラセラルルヤ、御上陸ノ前日御召艦警手ニ伊東海軍軍令部長ヲ始メ山田・井上兩艦長以下諸員ヲ召シ、洋酒ヲ賜ヒテ勞ヲ犒ハセラレ、伊東海軍軍令部長ニハ晚餐ノ陪食ヲ賜ヘリ。猶ホ御餐ニハ毎回威仁親王ト御會食アラセラレタリ。

御召艦横須賀軍港ニ警留セラルルヤ、十一日午前十時

葉山御用邸
ニ遷啓

五十分御上陸、陸海軍將星ヲ始メ神奈川縣知事等ノ奉迎
ヲ受ケ給ヒ、横須賀停車場ヨリ汽車ニテ十一時五十分
葉山御用邸ニ遷啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・庶
務課日記・大正天皇謹語
集・高辻修長日記
行啓録・官報

鎌倉御遊覽

十三日、午前十一時十七分葉山御用邸御出門、海路ニ
ヨリ鎌倉ナル材木座ニ御著、御徒歩ニテ山階宮別邸ニ行
啓、晝餐ノ後長谷及ヒ鶴岡八幡宮附近ヲ御散歩アリ、四
時四十五分還啓アラセラル。尋イデ十六日ニモ亦鎌倉ニ
御遊行アリ、即チ午前十時三十分山階宮別邸ニ御著、附
近ヲ御散歩アリ、歸途七里ヶ濱ヲ經テ四時十五分還啓ア

御歸京

ラセラレタリ。兩長日記・侍從
日記・行啓録

十八日、午前七時五十分葉山御用邸御出門、十時三十
分新橋停車場ニ御歸著、直ニ參内、正午假東宮御所ニ遷
啓アラセラレ、威仁親王ト午餐御會食、東宮職諸員ニ立
食ヲ賜フ。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・高辻
十九日、侯爵伊藤博文・海軍大臣山本權兵衛・侍從長
侯爵徳大寺實則・伯爵土方久元・宮内次官男爵川口武定・
子爵曾我祐準ニ謁ヲ賜フ。正午威仁親王ト御會食アリ。
兩長日記
侍從日記
是ノ日、午後一時三十分御出門、貞愛親王ヲ隨ヘ、陸

陸軍騎兵實
施學校ニ行
啓

軍騎兵實施學校ニ行啓、四時四十五分還啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・行啓録・官報

二十日、午後一時三十分御出門、有栖川宮邸ニ行啓、

五時五分還啓アラセラル。爾後、二十三日・二十九日ニ

モ亦此ノ事アリ。兩長日記・侍從日記・高辻修長日記・行啓録・官報

二十一日、午前七時三十分御出門、御乘馬ニテ青山練

兵場ニ行啓、近衛歩兵及ビ各隊ノ演習御覽、九時三十分

還啓アラセラル。猶ホ爾後、青山練兵場ニ行啓ノコト度

アリ。兩長日記・侍從日記

是ノ日、元帥侯爵山縣有朋・子爵裏松良光ニ謁ヲ賜テ

陸軍中央幼
年學校ニ行
啓

就中有朋ニ午餐ノ陪食アリ。午後一時三十分御出門、有朋ヲ扈從セシメ、陸軍中央幼年學校ニ行啓、生徒ノ術科ヲ覽給フ。歸途有栖川宮邸ヲ過リ五時二十五分還啓アラセラル。兩長日記・侍從日記・庶務課日記・行啓録・官報

皇太子妃御
誕辰

二十五日、妃誕辰ニヨリ正午東宮職高等官等ニ立食ヲ賜フ。午後一時三十分御出門、上野公園内日本美術協會

主催ノ美術展覽會ニ行啓、五時四十分還啓アラセラル。

兩長日記・侍從日記・庶務課日記・高辻修長日記・行啓録・官報

二十九日、午前八時三十分御出門、有栖川宮邸ヲ過リ

テ參内、午後零時四十分還啓アラセラル。尋イデ午後二

鎌倉ニ御遊
行

3202 431

明治三十四年六月

四二

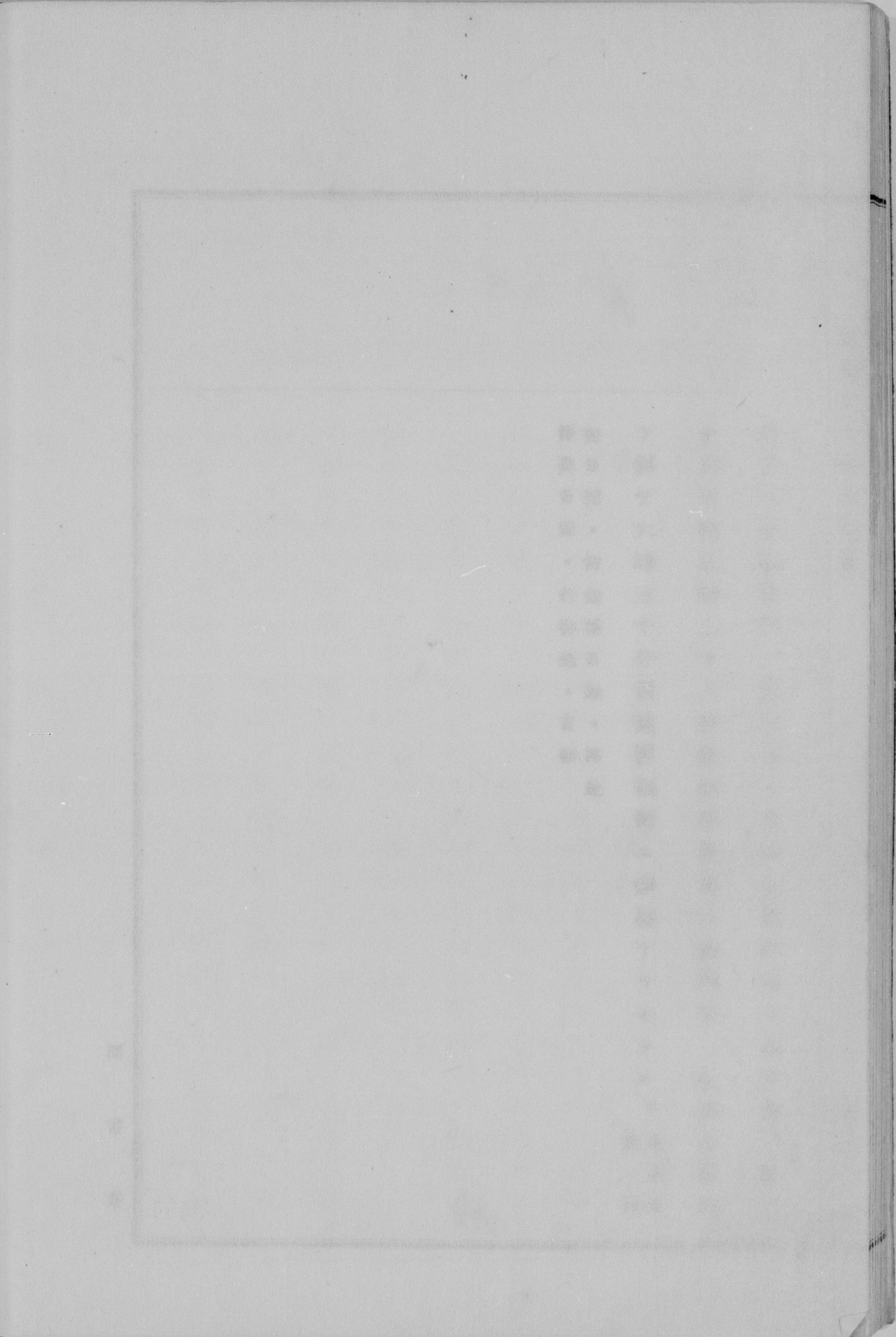
時五十分御出門、五時五十分鎌倉御用邸ニ御安著、翌三
 十日午後五時二十八分新橋停車場ニ御歸著、有栖川宮邸
 ヲ經テ六時三十分假東宮御所ニ遷啓アラセラル。兩長侍
 從日記・侍從職日録・高辻
 修長日記・行啓録・官報

圖書寮

3202 432



64047



3202 433

